



仙台市太白山自然観察の森 情報誌

2021

森のおくりもの 8

The Gift from Woods

No.359

アブラゼミ (セミ科)



【写真 レンジャー：新田隆一】

東北南部では、7月16日に梅雨明けが発表されました。これは平年より8日、昨年よりなんと18日も早い梅雨明けです。

太白山自然観察の森でも一気に夏本番を迎えました。写真はアブラゼミが羽化している途中です。サナギから脱皮した時は乳白色で、時間をかけて茶色に変化してから飛び立っていきます。

テレビのオリンピック観戦で盛り上がった後は、水筒を持って夏の自然を体験しに出かけてみましょう。

7月より館長に就任しましたので、よろしくお願いいたします。

【館長：川上正博】

森のことは

自然の様子や出来事を四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします。

『当たらぬ蜂には刺されぬ』(あたらぬ はちには さされぬ)

先日、センターの前でいそいそと開館準備をしていたら、ハチと思われる虫が私の顔に勢いよくぶつかりました。刺されたら大変でしたが、日頃の行いが良いせいか、大丈夫でした。どうやら刺しに来たわけではなく、飛んで来たハチの進行方向に私が急に割り込んでしまったようです。ハチは私の出現を予想していなくて、びっくりしたことでしょう。反射的な反応には少々自信がある私もぶつかるまで気づきませんでした。これが本当の“ハチ合わせ”ですね。

『当たらぬ蜂には刺されぬ』という言葉があります。「あえて蜂の巣を突いたりしなければ蜂に刺されることはないことから、自分から進んで危険なことや災いに近づかなければ無事である」というたとえです。この当たるとは、ぶつかることではなく関わるという意味で、「関わりさえ持たなければ災いをこうむることはない」という教訓です。攻撃性が高いスズメバチでも、巣に近づいたり怒らすような刺激を与えたりしなければ刺すこともないわけで、この言葉は核心をついていると思いました。

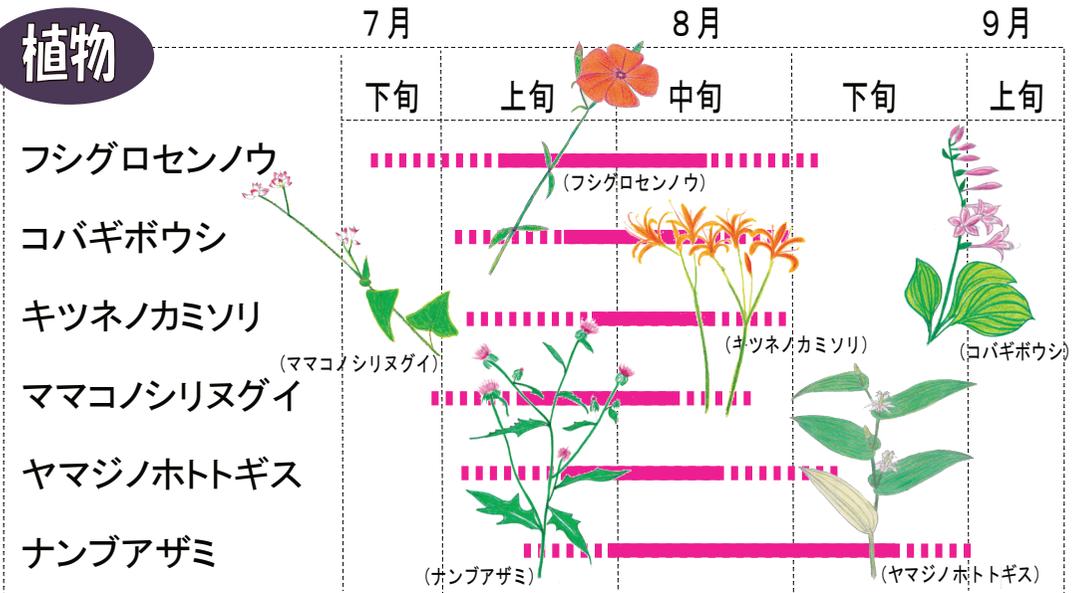
これからスズメバチの活動が活発になる時期になります。他にも皆さんが気になるクマやイノシシ、マダニなどの危険な要因が自然にはたくさんあります。しかし、散策路から外れた場所に行くことや危険な生物が活動する夜間などの時間帯を避ければ、ほぼ心配はないでしょう。

アイヌでは、あらゆるものに神（カムイ）が宿るとして敬い、大自然と共に生きています。スズメバチのことをアイヌ語でシソヤカムイといい、熊も恐れるハチで、家の中に入ってくれば幸運の前兆とされているそうです。アイヌの方たちの考え方を習い、自然を痛めるなどの“ばち当たり”な行為をせず、大切に思って付き合うことが必要だと感じます。 【レンジャー：新田隆一】



8月の生物ごよみ

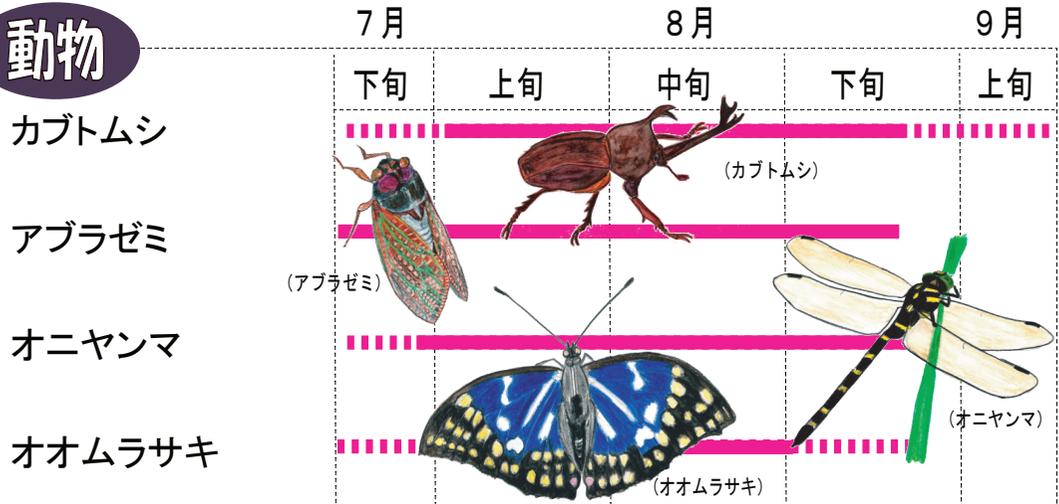
植物



セミも少しずつ発生しはじめ、6月25日にニイニイゼミ、6月30日にヒグラシ、7月13日にエゾゼミ、7月15日にアブラゼミ、7月16日にツクツクボウシが確認されました。人気のオオムラサキは7月7日にセンター前で羽化が確認されました。その後センター内で樹液を吸っている姿が数回確認されています。蝶が山頂に集まるヒルトッピングという現象があります。ちゃんとした理由はわかりませんがオスとメスがであう確率を上げるためと言われています。これからの季節、太白山の山頂までの山道でもオオムラサキを見ることができます。

【レンジャー：齋 正宏】

動物



森の「あれこれ」



「樹液のレストラン」



クヌギやコナラを見回って、樹液に群がる夏の昆虫たちを見つけました。写真中央に縦に並んでいる数匹のカナブン、中央上にいるのはモンズズメバチ、中央やや右下の地味な蝶はクロヒカゲ、その下にムナビロオオクスイという甲虫が3匹います。「あれ？カブトムシやクワガタは？」との声が聞こえてきそうですね。実は、カブト・クワガタなど大型昆虫は主に夜活動します。ただ午前中に確認できたものも年々減っている印象です。樹液の出ている木が少なくなっているようで、なぜなのかよくわかりませんが、木が育ちすぎたためか？ナラ枯れの影響か？なにより深夜や早朝に採集する人も増えています。観察したあと放してもらえれば、来年もまた出会えるのに…。飼育することの楽しさ大切さも理解できるので心苦しいのですが、見かければ採集しないようお願いしています。昨今SDGsが話題ですが、この自然観察の森の、生きものたちのあふれる姿が永続的に続くよう願ってやみません。



⇒この原稿締め切り間際にカブトムシ出現！

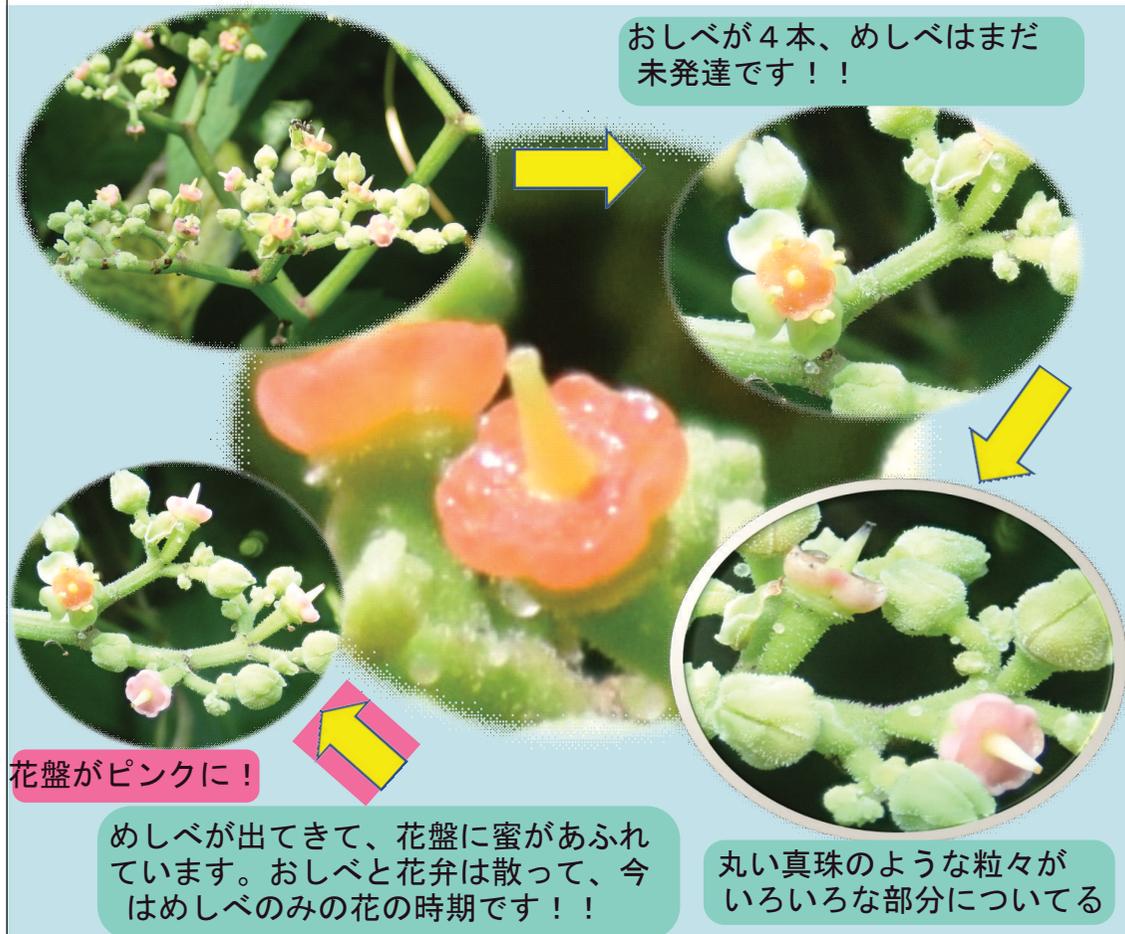
【レンジャー：木田秀幸】

森は糸 森は布



森は様々な生き物が互いにつながって
森として生きているんですね (*_*)

暑い日差しの中、ふと藪の方に目をやると何やらこんもりとした深い緑の中にオレンジ色の粒がちらほらと見えます。近づいて見てみるとそれは「ヤブガラシ」の小さな花でした。別名「ビンボウカヅラ」、「ヘクソカヅラ」と同様に可憐な花をつけますが、名前はひどいものです。さて、下の写真にもあるように蜜が豊富にあふれるこの花は、まさに虫のレストランです。(^^♪



おしべが4本、めしべはまだ未発達です！！

花盤がピンクに！

めしべが出てきて、花盤に蜜があふれています。おしべと花弁は散って、今はめしべのみの花の時期です！！

丸い真珠のような粒々がいろいろな部分についてる

「ヤブガラシ」の花は、最初はおしべ中心の花で、あっという間におしべや花弁が落ち、めしべ中心の花になります。花盤の色は橙色で蜜があふれ出ており多くの虫がやってきます。やがて花盤の色が桃色に変わると蜜の出はおさまってしまいます。でも次から次と花が咲くのでしばらくは多くの虫で賑わいます。人にとってはツルが木に絡み厄介者扱いですが虫たちにとっては貴重な餌場です。ところで、「ヤブガラシ」をよく観察すると面白いものが目に付きます。それはたとえば言うなら白い真珠。花序や茎、葉の裏側など様々な部分についているようです。どうも栄養分に富む固形の分泌物のようですがわからないことも多いようです。

【レンジャー：菅原幸彦】 (^^♪

8月のイベント & お知らせ



イベント

◆家族で昆虫かんさつ

トレイルを歩きながら昆虫を探し、触れたりその特徴を観察します。

【日時】8月14日(土)10:00~11:30

【対象】小学生の子どもとその保護者

【定員】10名

【持ち物】飲み物、虫よけ、雨具、帽子、歩きやすい服装と靴

【申込み】8月6日(金)9:00から電話にて(先着)

◆虫のいどころ

昆虫探しのポイントや昆虫についての解説を専門家から教えてもらいながら観察します。

【日時】8月21日(土)10:00~11:30

【定員】15名

【持ち物】飲み物、虫よけ、雨具、帽子、歩きやすい服装と靴

【申込み】8月7日(土)9:00から電話にて(先着)

～着任の挨拶～ 【新館長 川上正博】

7月1日より前任者の近藤館長の後任として着任しました。

太白山自然観察センターでの勤務は初めてで、これからいろいろなことを勉強したいと思います。

さて、令和3年5月19日から気象庁の発表する「平均値」が、1981~2010年から1991~2020年の観測値による新しい平均値となりました。

新平均値では前平均値と比べ、年平均気温は全国的に0.1~0.5℃程度高くなり、降水量は季節によっては多くの地点で10%程度多くなります。

私たちは、平均値は変わっても、太白山自然観察の森の自然環境が変わらないように、微力ながら努めてまいります。

ガイドウォーク

毎週日曜日開催
申込み不要、どなたでも参加できます

開催日: 1日, 8日, 15日, 22日, 29日
時間: 10:00~11:30, 13:30~15:00

休館日

2日, 10日, 16日, 23日, 30日
※毎週月曜日休館、月曜日が祝祭日の場合はその翌日

観察の森へのアクセス



宮城交通バスの場合

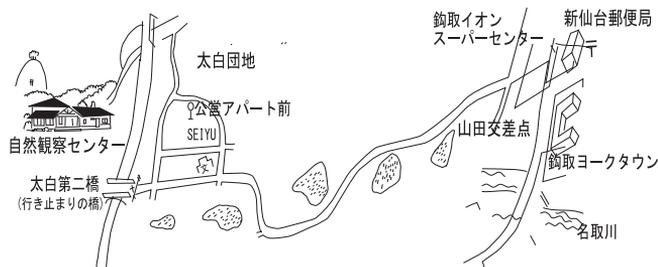
- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
- ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
- ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分

【行先】①②③「太白団地経由山田自由ヶ丘車庫行」乗車

※③のみ「太白団地、山田自由ヶ丘経由山田南ニュータウン行」
いずれも 公営アパート前 下車→徒歩15分

お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。
駐車場から徒歩5分でセンター



〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63
Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

発行: (公財)仙台市公園緑地協会

編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター